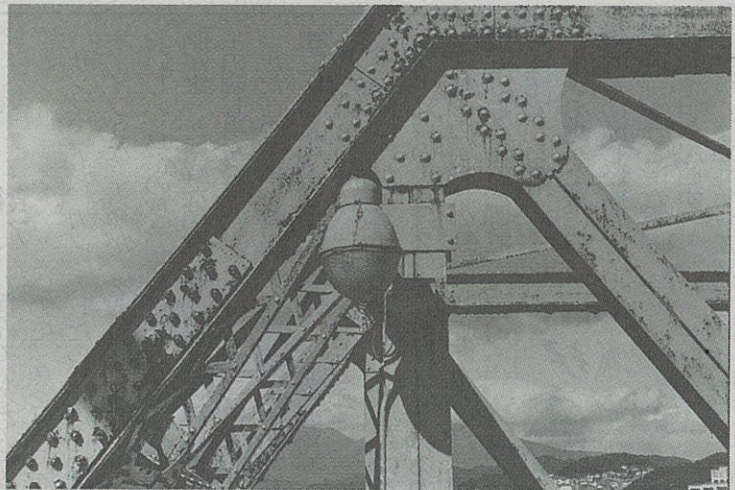


文化・芸術



「錦櫻橋#1」

2002/09年、ゼラチン・シルバー・プリント
75・0センチ×111・5センチ
(大川美術館蔵)

石内 都 (1947年)

堆積と浸食を生き抜き少女には、川の向いてきたワレントラス構造の橋「錦櫻橋」。理由があった、と。当石内都さんは、架け替え時、台風の被害により、え工事が始まった2002年に撮影しています。途中から河原を必死に歩いたといえます。石内さんはこの時間軸の中にあつた光景を自ら「Mothers」を初めて個展として発表した年でもありました。

錦桜橋は、母と何度か歩いた橋でした。4歳のある夕暮れ時のこと。ひとり桐生の家から母の実家のある笠懸の方へと橋を渡ろうとしていました。このと

《名画の扉》

企画展「石内都 STEP THROUGH TIME」から

(小此木)